# DMS-79□胞

300164

DMS-79□小細胞肺癌に由来するヒト肺癌細胞株である。これらの細胞 □、小細胞肺がんに特徴的な古典的神経内分泌表現型を示す。この表現型□、肺がんの発生と進行に極めて重要な神経内分泌シグナル伝達経路の研究に有用である可能性を示唆しており、重要である。DMS-79細胞株□肺癌の分子生物学、特に腫瘍の発生、細胞増殖、アポトーシスを理解する研究に広く利用されてきた。

この細胞株□ˊin vivoでの積極的な増殖と高い腫瘍原性で知られており、腫瘍の挙動や治療薬に対する反応をin vivoで研究するための優れたモデルとなっている。 DMS-79細胞□また、薬理試験や薬剤開発のための有用なツールとしても機能し、様々な化学療法剤に対する細胞応答についての洞察を提供している。さらにこの細胞□、小細胞肺癌における癌幹細胞の特性や転移のメカニズムの研究にも役立っている。このような広範な利用 □、癌研究、特に小細胞肺癌のような攻撃的で治療困難な癌を標的とする治療法における DMS-79の重要性を強調している。

## 概要

□明

DMS-79□小細胞肺癌に由来するヒト肺癌細胞株である。これらの細胞 □、小細胞肺がんに特徴的な古典的神経内分泌表現型を示す。この表現型□、肺がんの発生と進行に極めて重要な神経内分泌シグナル伝達経路の研究に有用である可能性を示唆しており、重要である。DMS-79細胞株□肺癌の分子生物学、特に腫瘍の発生、細胞増殖、アポトーシスを理解する研究に広く利用されてきた。

この細胞株□ˊin vivoでの積極的な増殖と高い腫瘍原性で知られており、腫瘍の挙動や治療薬に対する反応をin vivoで研究するための優れたモデルとなっている。 DMS-79細胞□また、薬理試験や薬剤開発のための有用なツールとしても機能し、様々な化学療法剤に対する細胞応答についての洞察を提供している。さらにこの細胞□、小細胞肺癌における癌幹細胞の特性や転移のメカニズムの研究にも役立っている。このような広範な利用 □、癌研究、特に小細胞肺癌のような攻撃的で治療困難な癌を標的とする治療法における DMS-79の重要性を強調している。

| | |
|---|---|
| ティッシュ | 肺 |
| 病気 | 癌腫、アザセリン誘発 |
| 転移部位 | 胸水 |

同義語

- DMS 79
- DMS79

## 分類

| | |
|---|---|
| 生物 | 人間 |
| セックス | 男性 |
| 成長特性 | アドヘレント |
| バイオセーフティレベル | 1 |

## 特徴

| | |
|---|---|
| 腫瘍形成性 | □い、ヌードマウスで |
| 倍増時間 | 96時間 |

## 識別子

引用

DMS-79 (Cytion カタログ番号 300164)

| | |
|---|---|
| **NCBI** 納税者番号 | 9606 |
| セロサウルス | CVCL_1178 |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

## 発現と感受性

発現している受容体

上皮成長因子（EGF）

抗原発現

Leu 7, My23, クラス1 HLA, クラス2 HLA

発がん遺伝子

C-myc+、N-myc+、c-raf-1+、Ha-ras+、Ki-ras+、N-ras+、v-fes-、v-fms-。

製品

アドレナコルチコトロピン（副腎皮質刺激ホルモン、 ACTH）、ボンベシン、カルシトニン、コルチコトロピン、βエンドルフィン、17βエストラジオール、リポトロピン、オキシトシン-ニューロフィシン（OT-NP）、パラトルモン、ソマトスタチン様免疫反応（ SRIF）

## 取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w: 2.0mM安定グルタミン、w: 2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

| | |
|---|---|
| 培養雰囲気 | 37°C、5%CO2、加湿雰囲気。 |

サプリメント

培地に10%熱不活性化FBSを添加し、2.5g/Lのグルコースと10mMのHEPESを加える。

継代培養

培養液が酸性化した時点で、週に1～2回、新鮮な細胞培養液を5ml添加する。非常に大きなクラスターが多数観察されたら速やかに継代する。細胞を回収し、カルシウム /マグネシウムを含まないPBSで1回洗浄した後、Accutaseを3～5ml添加してクラスターを分散させる。 37°Cで10分間インキュベートする。 遠心分離後、細胞を回収し、新鮮な細胞培養培地で再懸濁し、細胞数を測定する。培養 □2～4×10⁴細胞/mlで開始する。

| | |
|---|---|
| 播種密度 | 2～4 × 10⁴ 細胞/cm² |
| 流体の更新 | 週2～3回 |
| 解凍後の回復 | 解凍後、細胞を少なくとも24時間、凍結から回復させる。 |

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

## 品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染□、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物 □毎日目視検査が行われる。

| | |
|---|---|
| 凍結培地 | 凍結保存培地として□、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、また□回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。 |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存□、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株□、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

## 寄付者

| | |
|---|---|
| ドナーの年齢 | 65年 |
| 民族 | 白人 |

## 法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　□不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた□安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

| | |
|---|---|
| 物質移転契約書の締結が必要 | Yes |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB